

売るより買うほうが難しい(6)

「おせち」から考える

有限会社 良品工房
代表 白田 典子

今年も「おせち」から学んだことがたくさんありました。今回はそれをちょっとご紹介。

「子どもがカップヌードルを食べたいっていうのを、体によくないからダメ!」って言って、いつも買わないでいたら、お正月だから特別に買って。さすがにそれにはダメって言えなくて、その年、うちの正月料理はカップヌードルだったのよ!」

井戸端会議でモニターさんのこんな話を聞いて、思わず笑ってしまったのだが、同時に「それ、わかる～」と叫んでしまった。そこで、モニターさんたちに、「家族の喜ぶお正月料理って何ですか?」と、アンケートで聞いてみた。

「みんな、おせち料理は喜んでくれません。だからふだんあまり食べられないような高いお肉やお魚など、素材の値段の高いものが正月料理になります。和食であることにはこだわりません。」

「年末に忙しい思いをしてあれこれつくっても、皆、あまり食べてくれません。手間をかけてつくっても残るのは悲しいし、自分がかんばりすぎて家族に無理させるのだったら、買って揃えてもいいのではないのでしょうか。」

「おせち料理より、すき焼きとか焼肉、豪華な具材の鍋の方が喜びます。」

最近の主婦は・・・なんてよく言われるけれど、おせち料理は家族にあんまり喜ばれない。だから作りたくなる、っていう事情だってあるのだ。

私は「主婦は家族の買い物の窓口になっているだけ」という言い方をよくするのだが、実食・実感アンケートでも、「私は好きだけど、子どもが食べないので・・・」、「夫がおいしくないと言ったので・・・」という理由で「買わない」にマルをつけるモニターさんは多く、食べ手である家族の意見がとて大きいことを、いつも強く感じる。

去年の年末に杉並区在住のモニターさんたちに集まってもらって行った井戸端会議では、こんな話題で盛り上がった。

「うちは毎年主人の取引先の日本料理屋さんのおせちを買うの。そこでいつも食べてるから、おいしいって分かって安心。2万5000円だけど、高くはないと思う。」

「そうよね。うちもクリスマスのオードブルはいつも行ってる近所のレストランで用意してもらうことにしてる。デパートやスーパーで売ってるものは、冷凍のものを使っていたりするでしょう。そのレストランは完全に手づくりだって知っているし、ふだん行っているお店だから味も好みだし、安心して買える。デパートのものは添加物を使ってるっていうイメージがあります。有名な料理屋さんの名前がついていても、買いたくないわ。」

「ふだん食べていておいしいと思っている、誰がつくってるかが分かっている、だから安心。とみんなが口を揃えていた。」

その井戸端会議では、クリスマスやお正月などハレの日は、当日よりも準備をしているとき、メニューを考えて買い物をしたり、下ごしらえをしたりして、徐々に自分がそのモードになってくのが楽しいのだという話でもみんなの意見が一致した。

私自身、娘に「おせち料理を食べるときよりお母さんがにんじんとか大根を刻んだり、するめを切ったりする姿を見ての方が、お正月っていう気分になる」と言われたことがある。たとえそれが少くらい手抜きだったとしても、家族のために料理をつくっている「気配」があるだけで、お正月の食卓はずいぶん楽しいものになるのだと思う。

以前から「家庭の台所から幸せのにおいが消えてしまった」と感じることが多い。これはお正月に限らず、ふだんの食卓にも言えることだけど、できあいの惣菜ばかりでは、玄関をあけても何

のにおいもない。住宅街を歩いていてもおいしそうなおいがない。それは寂しい。

「だったらできあいを買わなければいいじゃん」と簡単に言われそうだが、そうはいかない。誰だって、忙しくて、家族にはおいしいもの、できるだけ自分の手をかけたものを食べさせたいと思っているのだ。

だから、台所からおいしいにおいがしてくるような「おせち」の提案があれば嬉しい。レンジでチンすれば完成というようなものではなく、いい感じのところまで素材に手をかけてくれていて、仕上げはウチ流にできるようなものだ。

いくら高価なおせちセットが売れているとはいっても、「お店で売られているもの」「イコール「消費者が求めているもの」だとは思わない。「そこにあるから」買っているだけってこともあるからだ。

そんな複雑な買い手の気持ちを汲み取って、ただ便利なだけじゃない提案をして欲しい。

法人協会ニュース

公正取引委員会が「農業協同組合の活動に関する独占禁止法上の指針」(原案)に対する意見を広く募集しています。

現在、公正取引委員会では、独占禁止法上の不公正な取引方法に該当するおそれのある農業協同組合の行為を示したガイドラインの原案を公表し、一般から広く意見を求めています。

今般、同委員会から当協会に対して、このことについて、会員に対して広く周知して欲しい旨の依頼がありましたので、お知らせいたします。

詳しくは公正取引委員会HP

(<http://www.jftc.go.jp/pressrelease/07.february/070214.pdf>)をご覧ください。

なお、意見提出期限は、平成19年3月16日(金)(18:00必着)です。

JAグループ農畜産物展示商談会 出展お申込受付中!

全農・JAバンク 全中が主催する初の全国的な展示商談会が開催されます。全国の量販店、外食、中食業者、食品メーカー、卸業者など、食を取り扱う様々な業種に発信するための展示会です。

新しい販路を模索されている方、異業種との交流を求められる方は、ご参加されてみてはいかがでしょうか?

開催日:3月20日(火) 1000~1700

会場 東京国際フォーラム(JR有楽町駅徒歩分)

出展者 生産者・JA・JAグループ関連団体等

ブース料金:100,000円(電源等別途)

主催者連絡先:

JA全農 営農総合対策部 TEL:03-3245-7036

JA全中 営農 経済事業改革推進部

TEL:03-3245-7666

総会のご出席はお決まりでしょうか?

繰り返しのご案内で、誠に申し訳ございません。来る3月8日・9日に第16回総会「春季セミナー」を開催いたします。

従来総会は時間半程度しか時間がなく、せっかく多くの会員さんが集まっているのに十分な議論が尽くせませんでした。今回の総会は時間を3時間にし、長期ビジョンを含め多くのご議論を頂けるよう企画いたしました。この機会に是非ご意見を発信ください。よろしくお願いします。

また翌日の春季セミナーでは食育をテーマにシダックスの志田社長をはじめとしたパネラーによるディスカッションや、「輸出」「農地」「外国人研修生」についてご討議いただく分科会などを開催いたします。それぞれ1年度の大きなテーマとなるものです。是非ご意見を頂きますようお願いいたします。

総会のご出席は、各都道府県組織事務局にて取りまとめいただいております。またご出席いただけない場合は、別途FAXにてご案内の「委任状」をご返信くださいますようお願い申し上げます。

よろしくお祈りいたします!!

グリーンチャンネルで会員さんが紹介されています

SkyパーフェクTV388chなどで放送している「グリーンチャンネル」にて、当協会の会員である有伊豆沼農産さん(伊藤秀雄社長)宮城県農業法人協会会長がご紹介されています。グリーンチャンネルが見られる方、是非ご覧下さい!

番組名:畜産!特産!ごちそう産!

放映日:2月26日(月)AM11:30~12:00

アグリビジネス経営塾 第326号

本紙に関するお問合せは下記までお願いします。
社団法人日本農業法人協会

(HP <http://www.hojn.or.jp/>)

TEL:03-5156-0365/FAX:03-5156-0366

MAIL: jku@hojn.or.jp

©(社)日本農業法人協会 2006

本紙掲載記事の無断転載を禁じます。